

# 財団法人さんりく基金平成 22 年度事業実施状況

## 1 基本方針

平成 22 年度は、県内市町村等の個性ある地域振興を図るための主体的な取組みを支援するとともに、三陸地域の特色を活かした地域振興を図るための調査研究を支援した。

さらに、県政の重要課題である県北・沿岸振興に資するための取組みを支援するとともに、財団としても地域振興に資するための自主事業に取り組んだ。

## 2 事業別の実施状況

### (1) 調査研究事業

#### 三陸地域をテーマ・フィールドとした調査研究への支援

〔目的〕 三陸地域における産業、自然、歴史、文化等の特徴を踏まえつつ、地域課題に対応した調査研究への助成を行う。

〔実施状況〕 奨励研究 7 件（助成総額 2,069,200 円）  
課題解決研究 11 件（助成総額 10,009,708 円）  
共同研究 5 件（助成総額 4,155,424 円）

（P 7 ~ 1 2 参照）

#### 年報、機関誌「三陸総合研究」の発行

〔目的〕 年報にて財団の紹介を行い、また、地域振興の情報や調査研究の成果を機関誌に掲載し、市町村、試験研究機関、地域づくりリーダー等へ広く提供する。

〔実施状況〕 平成 22 年度「年報」 450 部発行（平成 22 年 10 月 1 日発行）  
「三陸総合研究」第 35 号 200 部発行（平成 22 年 11 月 1 日発行）

### (2) 県北・沿岸振興支援事業

#### 県北・沿岸圏域における産業の振興及び交流人口の拡大に向けた取組みに助成

〔目的〕 調査研究事業や大学、試験研究機関等の既存の研究成果を実証し産業化を進めるほか、県北・沿岸圏域の域内又は海外や他都道府県を含む圏域外との人的・物的な連携・交流を進めるための事業を支援する。

〔実施状況〕 調査研究成果等活用促進事業 3 件（助成総額 3,296,000 円）  
観光総合産業化モデル支援事業 6 件（助成総額 10,025,468 円）

（P 1 3 ~ 1 5 参照）

### (3) 自主事業

#### 岩手県内における格差に関する調査研究事業

〔目的〕 ジニ係数を用いた内陸圏域と県北・沿岸圏域の格差要因の分析結果を活用して、市町村等との意見交換・勉強会の開催と課題解決のための施策展開。

〔実施状況〕 本県の内陸地域と県北、沿岸地域の沿岸格差をジニ係数を用いて時系列的に数値化し、地域間格差をもたらしている諸要因を明らかにし、地域ごとに取り組むべき政策課題を探る報告書として「岩手県内の地域間格差について」を各関係機関に配布（H22.4）した。自治体の施策に反映に結びつけるため、市町村等との勉強会を開催した。（H22.8.9 宮古市 40人参加）

#### 三陸海洋調査研究促進事業

〔目的〕 海洋基本法制定（H19.7）等海洋研究の重要性が高まる中、三陸沿岸の研究機関のネットワーク構築と連携強化を図り、沿岸振興を海洋研究の面から推進する。

- 〔実施状況〕
- ・各研究機関の研究成果報告会の開催（H22.7.23 釜石 51人参加）
  - ・海洋関係研究機関の研究者データベースの更新運用
  - ・教育普及等を目的としたセミナーの開催（H22.10.1 宮古市 900人参加）
  - ・いわて海洋研究コンソーシアムへの参画  
ネットワーク形成、海洋環境研究、海洋バイオテクノロジー研究、海洋資源エネルギーの活用推進などのプロジェクトが効果的に実施されるよう、構成員間の連絡調整、連携強化を図る。【構成：海洋・水産に関する主要な産学官機関 24 機関】
  - ・三陸海域研究論文の募集  
岩手県が主催する「平成22年度 岩手県三陸海域研究論文知事賞」を協賛で開催し、三陸海域における海洋・水産研究の活性化を図り、将来に向けた研究拠点形成の礎を築くとともに、交流人口の増加を通じた地域振興を図る。知事賞受賞者に対し、副賞を授与した。

#### 三陸海岸地質・地形調査研究事業

〔目的〕 三陸海岸特有の地質・地形などの科学的な評価やジオサイト候補などの調査研究を実施し、これら資源の活用策を含めた新たな地域資源を提案する

- 〔実施状況〕
- ・地質・地形調査の実施
  - ・いわて三陸ジオパークシンポジウムの開催（H23.2.2 宮古市 142人参加）

## 事業報告の附属明細書

平成 22 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 23 年 5 月

公益財団法人さんりく基金

(別添資料1)

平成22年度調査研究事業

(1) 奨励研究(7件)

	研究者	研究題目・目的	基金助成額
1	東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター 教授 大竹 二雄	題目：三陸沿岸におけるアユの初期生活史の解明 目的：三陸沿岸域のアユを対象として、仔魚の流下から遡上に至るまでの海域における分布・成長・回遊などの生活史を明らかにし、河川遡上個体群の構造とその形成機構を解明することで三陸地域のアユ資源の増加や保全の確立に資する生物学的知見を提供する。	300,000 (期間延長)
2	岩手大学工学部 助教 晴山 涉	題目：三陸北部地域における一般廃棄物処理の効率化に関する研究 目的：岩手県三陸北部地域のごみの特性を明らかにするため、事業系ごみと生活系ごみの組成調査を行うとともに、対策の効果を検証する目的で、古紙の分別回収の範囲を拡大した場合のごみ分別回収の実証試験を行う。	299,200
3	東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター 教授 大竹 二雄	題目：耳石微量元素組成を指標としたニシンの集団構造の解明 目的：ニシンの個体の仔稚魚期に相当する耳石の微量元素組成の違いから、各個体群内における出生地の異なりや交流割合を解明し、資源状態や集団構造を把握する。	300,000 (期間延長)
4	北里大学海洋生命科学部 講師 天野 春菜	題目：低塩分海水での飼育による安定的なニシン種苗生産技術の開発 目的：安定的なニシン種苗生産技術を開発することを目的として、成長および環境適応に密接に関与する成長ホルモンおよびインスリン様成長因子の遺伝子をクローニングする。	300,000 (期間延長)
5	岩手大学農学部 准教授 平野 紀夫	題目：カキのノロウイルス汚染リスク評価に関する基礎的研究 目的：生食用カキについて、ノロウイルスによる汚染を原因とする食中毒を未然に防止し、安全なカキの安定生産に資するため、培養手法が確立されていないノロウイルスの不活化評価手法を開発する。	300,000 (期間延長)

(単位：円)

	研究者	研究題目・目的	基金助成額
6	東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター 教授 大竹 二雄	題目：マガキ貝殻中の微量元素組成の地理的差異 ～三陸産マガキの判別手法の確立～ 目的：三陸沿岸において、マガキは重要な水産資源の1つである。マガキの産地偽造を防ぎ安心・安全な食品の安定供給をするためには、正確かつ、迅速で簡便な産地判別法を確立する必要がある。本研究では、不可食部である貝殻中の微量元素組成を指標としたマガキの産地判別の有効性の検討を目的とした。	270,000 (期間延長)
7	東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター 准教授 佐藤 克文	題目：宮古湾におけるカワウ・ウミウの生息状況及び漁業被害の実態把握調査 目的：宮古湾とその周辺に生息する2種類の鵜類について、生息個体数、採餌域、繁殖地など明らかにし、それらが湾内において、どのような水産資源を利用しているのかを明らかにする。	300,000 (期間延長)
			基金助成額計：2,069,200円

(2) 課題解決研究(11件)

(単位:円)

	研究者	研究題目・目的・期間	基金助成額
1	北里大学海洋生命科学部 教授 森山 俊介	<p>題目:サケの卵巣外皮から調製した機能性成分の水産増養殖への活用法の検討</p> <p>目的:サケのイクラを採取した後に廃棄処分されている卵巣外皮を水産増養殖に有効活用する新技術を開発し、未利用資源に付加価値を創出することを目標として、サケ卵巣外皮由来の成長促進因子の探索及び機能性の解明を行い、効率的な抽出・調製法を確立し、機能性飼料の開発を行う。</p> <p>期間:平成22年度~平成23年度</p>	1,000,000
2	東北大学大学院農学研究科 教授 遠藤 宜成	<p>題目:養殖ワカメに被害を与える吸管虫の生物学的研究</p> <p>目的:岩手県や宮城県沿岸で養殖ワカメに大きな被害を与えている吸管虫類繊毛虫について、経時的にワカメへの付着を調査し、付着が始まる環境的要因を突き止める。並行してワカメ養殖期以外の付着期ステージの有無を観察や吸管虫の増殖様式などを明らかにし、被害を少なくする方策を考える上での基礎的知見を得る。</p> <p>期間:平成22年度~平成23年度</p>	670,000
3	財団法人岩手生物工学研究センター 研究員 山田 秀俊	<p>題目:未利用低利用三陸水産資源の健康機能性探索</p> <p>目的:三陸産水産資源の中でも未・低利用水産物(サケ卵巣膜、イサダなど)に焦点をあて、新規機能性の探索(抗肥満効果、脂質代謝改善効果、抗腫瘍効果、免疫賦活効果、抗炎症効果)と既知の機能性物質の効能についての解析を行う。</p> <p>期間:平成22年度</p>	1,000,000
4	北里大学海洋生命科学部 准教授 林崎 健一	<p>題目:湾内環境モニタリングシステムの有効活用に関する研究</p> <p>目的:湾内の漁業生産に影響を与える水温や風などの環境要因を低予算でリアルタイムにモニタリングする3次元観測網を開発し、三陸域の各湾に配備することにより、湾内の水塊の移動パターンを明らかにするとともに、水温変化とホタテ斃死や植物プランクトンの生産との関係について検討を行う。</p> <p>期間:平成22年度~平成23年度</p>	992,288 (期間延長)

(単位：円)

	研究者	研究題目・目的・期間	基金助成額
5	東京海洋大学海洋科学部 准教授 佐々木 剛	<p>題目：さんりく E S D 閉伊川大学校におけるキャパシティービルディングに関する研究</p> <p>目的：さんりく E S D 閉伊川大学校において、市民参加型のワークショップを開催し、自然環境を用いた一般市民や児童生徒を対象とした学習教材プログラムを作成し、教育実践を行うためのキャパシティービルディング(人材育成)方法に関する研究を行う。</p> <p>期間：平成 22 年度</p>	1,000,000
6	北里大学海洋生命科学部 講師 山田 雄一郎	<p>題目：岩手県沿岸におけるサケ幼稚魚の餌料環境の解明</p> <p>目的：放流稚魚の生残率を増加させ親魚の回帰率を高水準に保つために、動物プランクトンの群集組成と生物量の季節的变化を精査し、沿岸域におけるサケ幼稚魚の餌料環境を解明する。</p> <p>期間：平成 21 年度～平成 22 年度</p>	404,960 (期間延長)
7	岩手大学農学部 准教授 木村 賢一	<p>題目：三陸沿岸に生息する海藻由来の疾病の予防や治療に有効な物質の探索</p> <p>目的：三陸沿岸に生息する、特に未利用の海藻類(ミツデソゾ他)から、人間の各種疾病に対して予防や治療効果を有する、構造や活性において新しい低分子機能性物質(バイオプローブ)を探索し、その単離精製、構造決定、並びに作用メカニズムの解析を行い、特許申請の後企業と共に開発の可能性を探る。</p> <p>期間：平成 21 年度～平成 22 年度</p>	999,320
8	一関工業高等専門学校 教授 二階堂 満	<p>題目：コンバージミルを用いた廃棄貝殻の有効利用</p> <p>目的：三陸の廃棄貝殻の有効利用を目的とし、廃棄貝殻(主にカキ殻を中心)に他の原料を混合のうえ、高エネルギー付加型粉碎機(コンバージミル)でメカノケミカル粉碎し、機能性材料(ハイドロキシアパタイト)を合成する。また、機能性材料の用途として主に重金属固定化剤や抗菌剤を想定し、連続的に重金属吸着処理ができる、排水の連続処理装置の設計を行う。</p> <p>期間：平成 21 年度～平成 22 年度</p>	943,140

(単位：円)

	研究者	研究題目・目的・期間	基金助成額
9	北里大学海洋生命科学部 講師 三宅 裕志	題目：三陸沿岸におけるミズクラゲ類の生態について 目的：漁業被害を与えるキタミズクラゲおよびミズクラゲの野外生態について、定置網漁船などへの乗船調査や港湾岸壁調査等を行い、明らかにする。 期間：平成 22 年度～平成 23 年度	1,000,000 (期間延長)
10	北里大学海洋生命科学部 講師 三宅 裕志	題目：三陸沖日本海溝海底の亀裂中に存在する海底ゴミと現場微生物に関する調査 目的：三陸沖日本海溝側斜面に発見された海底の亀裂の底に蓄積されたゴミの種類と分布を調べ、現場環境に生息する微生物の多様性を明らかにすると同時に、現場のゴミ成分を分解できる能力を持った有用微生物を分離する。 期間：平成 22 年度～平成 23 年度	1,000,000 (期間延長)
11	岩手大学工学部 教授 成田 榮一	題目：廃棄貝殻を原料とする新しい環境浄化材料の開発 目的：養殖水産業で大量に発生する廃棄貝殻の有効利用を背景とし、これを原料に簡便な処理を施すことによりラジカル発生剤を得る方法を確認し、その発生機構を明らかにするとともに、これをシックハウス成分のホルムアルデヒドなどの環境汚染物質の分解に利用しようとするもの。 期間：平成 22 年度～平成 23 年度	1,000,000 (期間延長)
			基金助成額計：10,009,708 円

## (3) 共同研究(5件)

(単位:円)

	事業者 研究者	研究題目・目的・期間	基金助成額 (全体事業費)
1	久慈琥珀株式会社 代表取締役社長 向正彰 (久慈市)  岩手大学農学部 准教授 木村 賢一	題目:久慈産琥珀から単離された新規生物活性物質の機能性の科学的証明 目的:久慈産琥珀に含まれる新規の生物活性物質の定量法の確立及び機能性物質の正確な分析と抗アレルギーに関わる機能性を動物も含めて科学的に証明し、その機能性を生かした商品開発へと展開させる。 期間:平成22年度~平成23年度	1,200,000 (1,500,000)
2	久慈地方森林組合 代表理事組合長 新屋 清満 (久慈市)  岩手大学教育学部 准教授 田中 隆充	題目:南部琥珀松を用いた幼児向け組木教材を開発するための接合構造の開発と商品化への応用 目的:他の木材と比較して触れたときの温もりが暖かいとされる南部琥珀松の特性を活かし、幼児が木に親しむことができ、伝統的な組木の技法に触れられる、安全性の高い組木教材の設計開発を行い、建築材以外の新しいビジネス分野を開拓する。また、併せて南部琥珀松の地域ブランドとしてのPRを行い、三陸地域の経済の活性化に貢献する 期間:平成22年度	786,544 (983,180)
3	株式会社アマタケ 代表取締役社長 甘竹 秀企 (大船渡市)  北里大学海洋生命科学部 准教授 佐藤 繁	題目:麻痺性貝毒除染効果を持つ新規二枚貝用飼料の開発 目的:近年解明されつつある二枚貝の麻痺性貝毒の代謝機能を応用し、安価なフェザーミールをベースとして、麻痺性貝毒除染効果を持つ付加価値の高い二枚貝用飼料を開発する。 期間:平成21年度~平成22年度	616,000 (770,000) (期間延長)
4	株式会社丸辰カマスイ 代表取締役会長 田代勝男 (釜石市)  北里大学海洋生命科学部 教授 森山 俊介	題目:サケ頭部の機能性成分配合飼料を有効利用した魚類の増養殖技術の開発 目的:サケ頭部の未利用資源から調製した増体促進成分配合の機能性飼料を調製し、その有効性をヒラメ・カレイ類及びコイ類で実証するほか、増体促進成分の量産化及び品質評価法の確立を行う。 期間:平成22年度~平成23年度	1,200,000 (1,500,000)
5	E C O - A株式会社 代表取締役 水野 芳伸 岩手大学人文社会科学部 教授 河田 裕樹 一関工業高等専門学校 准教授 渡邊 崇	題目:ホタテ貝殻焼成パウダーの除菌・抗菌効果検証、評価 目的:貝殻を工業会に普及させ、消費拡大することを目的とし、貝殻が持つ除菌・抗菌効果を付加した新しい工業用熱可塑性樹脂のベースポリマー違いによる数種類の熱可塑性樹脂を開発する。これに使用するホタテ貝殻焼成パウダーの焼成条件、混合比率、貝殻の構造の違いによる除菌・抗菌効果の検証・評価を行う。 期間:平成22年度~平成23年度	352,880 (441,100) (期間延長)
		基金助成額計 (全体事業費計)	4,155,424 (5,194,280)

## (別添資料2)

## 平成22年度県北・沿岸振興支援事業

## (1) 調査研究成果等活用促進事業

(単位:円)

	事業者	実証のテーマ・取組みの概要	基金助成額 (全体事業費)
1	協同組合マリンテック 釜石 代表理事 佐々木 傳十郎 (釜石市)	実証のテーマ:三陸産イサダを利用した高濃度 GABA 含有機能性食品の製造及びサプリメントへの製品化 活用する研究成果:乳酸菌を用いたギャバ含有イサダ 食用素材の開発 北里大学海洋バイオテクノロジー釜石研究所 部長 志津里 芳一 海洋性機能性アミノ酸素材の品質向上に関する 研究開発 岩手県水産技術センター 専門研究員 及川 和志 取組みの概要:三陸産イサダから抽出した機能性素材 (乳酸発酵による G A B A 製造技術の活用)を食 品サプリメントとして流通販売を行う。 製造コストの軽減化 食用素材への G A B A 含有量の高濃度化 経済的な製造量の確立 サプリメント製品の試作化	1,200,000 (1,985,000)
2	大黒醤油株式会社 代表取締役 坂本 剛 (軽米町)	実証のテーマ:天然ホヤと県北産大豆・小麦を原料と した新規調味料「ほやじお醤油」の開発 活用する研究成果:ホヤ塩醤油の試作 岩手県工業技術センター 主任専門研究員 畑山 誠 取組みの概要:ホヤの体液を煮詰めた“ほやじお”を 活用した全く新しい醤油の商品化を目的として、 仕込み試験、分析等を行い、工業的製造工程を確 立する取り組みを行う。 醤油醸造用濃縮ホヤ水の開発 「ほやじお醤油」の開発	896,000 (1,121,484)
3	石村工業株式会社 代表取締役社長 石村 真一 (釜石市)	実証のテーマ:新巻サケ、野菜、キノコ等の農水産物 の加工処理(洗浄、浸漬、塩漬、脱塩処理など)の 省力化および効率化における汎用型攪拌機の利用 に関する研究 活用する研究成果:産業化を考慮したワカメおよび コンブの高速塩漬方法の開発および該塩漬で生 じる塩水廃棄物の有効利用法の検討 ワカメ 高速塩漬装置を活用した水産加工用原料凍結ブ ロックの解凍時間短縮化技術の開発および実用化 岩手県工業技術センター 主任専門研究員 小野寺 宗伸 取組みの概要:新巻サケ、野菜、キノコ等の農水産物 の加工処理(洗浄、浸漬、塩漬、脱塩処理など) の省力化および効率化における汎用型攪拌機で、 加工品の高品質化、ブランド化を視野に入れ、ビ ジネス展開を図る。	1,200,000 (1,526,689)
		基金助成額計 (全体事業費計)	3,296,000 (4,633,173)

(2) 観光総合産業化モデル支援事業

(単位：円)

	取組みの概要		基金助成額 (全体事業費)
1	事業主体	岩泉商工会(岩泉町)	1,570,000 (3,035,464)
	連携事業者	岩泉まつたけ事業協同組合(岩泉町)、いわいずみ山人会(岩泉町)	
	取組みの概要	<p>まつたけ山づくりの継続・普及とそれに伴う環境保全を目的に岩泉版まつたけ十字軍を組織化し、山林体験ツアーガイドの体制整備を行い、まつたけ山づくりやまつたけ狩り等、まつたけを中心とした岩泉の山林資源を活かした体験型観光の育成及び「岩泉まつたけ(仮称)」のブランド化に取り組む。</p> <p>(1) 京都まつたけ十字軍との交流と岩泉版まつたけ十字軍の組織化、まつたけ山モデル整備</p> <p>(2) 岩手県内の一般客を対象としたまつたけ山づくり、まつたけ狩り等の体験モニターツアーの実施</p> <p>(3) 山林体験ツアーガイドの体制整備</p> <p>(4) 「岩泉まつたけ(仮称)」の地域団体商標登録申請等によるブランド化の推進</p>	
2	事業主体	平庭高原体験交流施設利用促進協議会(久慈市)	997,500 (1,516,350)
	連携事業者	「平庭市友の会」(岩手県、久慈市、葛巻町)	
	取組みの概要	<p>平庭高原エリアを白樺村という名称のもと、地域住民と都市住民の密接な交流の拠点化を図り、交流人口の拡大を目指し、地域の活性化に繋げる取り組み。</p> <p>(1) 白樺村村民の募集</p> <p>(2) 白樺村村民交流大会の実施(年2回)</p> <p>(3) 白樺村周辺ツアーの企画・実施</p> <p>(4) 「白樺村民の森」整備</p> <p>(5) 白樺村広報誌の発行(年4回)</p>	
3	事業主体	宝を生かした事業実行委員会(二戸市)	2,744,000 (4,116,000)
	連携事業者	二戸市観光協会(二戸市)	
	取組みの概要	<p>エコツーリズムと食をキーワードとした交流人口の拡大及び地域食材提供のしくみづくりにむけた取り組みを行う。</p> <p>(1) エコツーリズムコースの検討</p> <p>(2) ガイド養成</p> <p>(3) モニターツアーの開催</p> <p>(4) 食材供給体制の強化ほか</p>	
4	事業主体	みやこ食品加工・販売研究会(山田町)	1,505,099 (2,257,649)
	連携事業者	研究会会員30社(宮古市ほか)	
	取組みの概要	<p>宮古・下閉伊地域の食品加工業者が連携し、地域特産原料を活用した新たな加工品を開発するとともに、首都圏等における商品求評及び合同販売会を実施し、地域の食材の販路拡大及び観光誘客を図る。</p> <p>(1) 地元の特徴的な食材を利用した新商品の開発</p> <p>(2) 首都圏等における各会員の主力商品及び新商品の合同販売会の実施及び市場調査による消費者ニーズの把握</p> <p>(3) チャレンジショップの定期開催による開発新商品の販売及び加工技術体験メニューの提供</p>	

(単位：円)

	取組みの概要		基金助成額 (全体事業費)
5	事業主体	特定非営利活動法人久慈広域観光協議会(久慈市)	1,000,000 (1,500,853)
	連携事業者	社団法人久慈市観光物産協会(久慈市) 洋野町観光協会(洋野町) 野田村観光協会(野田村) 普代村観光協会(普代村)	
	取組みの概要	久慈地域を訪れる旅行者を地域内で回遊させ観光消費額の向上を図るため、駅を中心とする街なかの商店や施設等からの情報と基に、周辺散策に必要なガイドマップを作成し、街なか観光による地域経済の活性化モデルを創出する。 (1) 地域住民によるガイドマップの作成 (2) 個人旅行者や旅行エージェントへの街なか観光の提案 (3) 移動手段(自転車)の整備 (4) 街なか観光の商品化	
6	事業主体	かまいし水産振興企業組合(釜石市)	2,208,869 (4,913,304)
	連携事業者	株式会社ツインプラネット(東京都)	
	取組みの概要	グリーンツーリズムと魚食をキーワードとした交流人口の拡大及び地域食材提供のしくみづくりに向けたモデル的取組み。 (1) 通年型漁業体験モデルの構築 (2) 若年層に対する「魚情報、漁業情報、産地情報の配信」 (3) 都市部における魚食啓蒙イベントの実施 (4) 小売店等でのイベント開催 (5) 若年層向け「海の幸」メニューの開発	
	基金助成額計 (全体事業費計)		10,025,468 (17,339,620)